



COVID-19と高血圧

私が浜松北病院に勤務するようになって1年が過ぎ、気持ちよく働かせていただいております。専門とする内分泌代謝内科領域の診療以外に、ICTのメンバーとして活動しております。

浜松北病院に勤務するようになり、最も感じていることは、職員の皆さんが患者にとっても優しいことです。床に膝をつき、患者に説明している職員の姿には、感動を覚えました。ただ、現在の新型コロナ感染症緊急事態宣言下では、感染コントロールの立場から、気になる部分もなきにしもあらずです。

最近の医学論文では、COVID-19と疾患というテーマで特集が組まれているものをよく見かけます。COVID-19は気道に進入すると、人体が持つACE2（アンギオテンシン変換酵素2）と言う蛋白に結合して細胞内に侵入してきます。このACE2に結合するスパイク蛋白の働きを抑えようと、新型コロナワクチンを皆さんが注射しているわけです。

このACEと言う酵素は、内分泌の分野ではとても重要なものです。ヒトの血圧を維持している最も重要なシステムであるレニン-アンギオテンシン-アルドステロン系を構成する重要な因子です。ACE1はアンギオテンシンからアンギオテンシンIIを生成する酵素です。一方、ACE2はアンギオテンシンIIからアンギオテンシン（1-7）を生成します。

アンギオテンシンIIは血管を収縮したり、アルドステロンの分泌を促進して血圧を上昇させますが、アンギオテンシン（1-7）はアンギオテンシンIIの働きに拮抗し、血圧を低下させる効果が知られています。血圧の治療薬として主に用いられるアンギオテンシン変換酵素阻害薬（ACEI）やアンギオテンシン受容体拮抗薬（ARB）は、アンギオテンシンIIの働きを抑える働き以外に、このACE2を増加させることが知られるようになってきました。と言うことは、血圧の治療薬として広く用いられるACEIやARBは、ACE2を増やしてCOVID-19感染症の増悪因子になるのではないかという懸念がもたれました。

実際、私が処方する降圧剤の約半数はこれら薬剤でしたので、昨年の初め頃は処方を控えるようにしました。しかし、最近の研究報告では、これらACEIやARBの処方によってCOVID-19に感染しやすくなったり重症化を来すことはないと発表されました。血圧治療が不十分であることの方が、患者にとって不利益であるという結論です。現在では、本来の血圧治療に戻っています。

糖尿病や肥満がCOVID-19感染症の増悪因子となることは皆さんご存知だと思います。この1年半の間に多くの研究がなされています。正しくCOVID-19を理解することによって、この困難な時期を乗り越えていきたいと思っています。

職員の皆さん、患者の皆さん、そして多くの市民の皆さん、自分自身と家族を含めた愛する人々のために、もう暫く頑張りましょう。

学術顧問

沖 隆 医師

外来診療日（内分泌・糖尿病）

毎週 月・木・金 曜日



学術顧問 沖 隆



タコさんウインナー

日中は茹だる様な暑さですが、賑やかだったクマゼミの声はあまり聞かれず、どこか寂しいコオロギの鳴き声へと変わりつつあります。高くなった青い空には蜻蛉が行ったり来たりと秋が色濃くなってきました。

この時期の日曜日、朝になると運動会を告げる花火があちこちで鳴ったものですが、運動会の開催時期も変わってきたようで、最近では花火の音はめっきり聞かれなくなりました。それでも、この空を見上げると、荷物をいっぱい持って運動会会場に向かった子供の頃を思い出します。

当時、私の育った地域では学校主催の運動会と、町内会主催 町内対抗運動会がありました。私は、家族と一緒に過せる町内運動会の方が楽しかったですね。

運動会と言えばお弁当。何が入っているのか判らず心躍らせながら蓋を開けたものです。タコの形をした赤いウインナー、唐揚げ、甘い卵焼き、照りのついたミートボールに金時豆。ご飯には、大好きな海苔玉ふりかけがいっぱいかかっています。がつがつと口いっぱい頬張って食べていると『行儀が悪い』とよく叱られたものです。

皆さんの思い出のお弁当はどんなでした？大きなアルマイトの弁当箱に御飯ぎっしり派？それともアニメキャラクターが書かれたアルミの弁当箱派でしょうか。色とりどりのオニギリを持って行かれた方もいるでしょう。御飯もおかずも冷めていましたが、どれも心温まるお弁当でしたね。

『今日のごはん何にする？』と悩んだ時、その懐かしいお弁当、を前に食卓を囲むのはいかがでしょうか？当時の記憶をたよりに、弁当箱に思い出いっぱい詰め込みましたら、布巾で包んで準備完了。蓋を開けた瞬間、笑顔になること間違いなし。

『母さんの卵焼きは、もっとしょっぱかったよね』などと、思い出話に花も咲くでしょう。

私も母を偲んで、あの時のお弁当を再現してみようかな…と思う今日この頃です。

（まだ食材が傷みやすい時期なので御注意下さいね）

西病棟

西病棟は、平成15年に増築した別館2階建ての建物の2階にあります。正式名称は、医療療養型病棟といい、定められた医療を必要とした患者が入院している部署になります。病床数は60床、医師1名・看護師19名・介護士19名・歯科衛生士1名・理学療法士2名・作業療法士2名・言語聴覚士2名・医療事務員1名・医療相談員1名と、多くの職員で援助をさせていただいております。

ベッド上で毎日をご過ごされる患者さんが多く、自宅にいたころの日常を感じてもらえるよう病棟の廊下、ホール、各部屋の出入り口に介護士が工夫を凝らして季節の飾りつけを担当しています。お正月は神社で初もうで、雛飾り、花見、入学式、鯉のぼり、梅雨時期はアジサイ、七夕には笹に患者さんの願い事を記入し、8月はオリンピックとメダルも飾られました。患者さんとお花紙を丸めて作品作りをしており、この先はどんな作品ができるか楽しみです。

また、毎月お誕生会では、自己紹介と記念撮影、折り紙やカードのプレゼントを渡された患者さんのうれしそうな顔が印象的です。実習生が来ている期間は演奏や歌の披露など特別参加する事もあり、さらに笑顔がいっぱいになりました。クリスマスにはサンタにふんした職員が患者さんへプレゼントを届けてくれました。今はコロナで面会ができませんが、以前は夏祭りが最大のイベントでご家族も招待して楽しまれていたようです。

ご家族さんからは、動けないのでお風呂は無理ですか？と聞かれることもあります。週2回、体調に問題が無ければ湯の中につかり、身体をきれいにすることができます。食事・排泄・洗面も日常の大切な援助であり、機能維持のためできる事はご自身で、できない所は職員が関わらせていただきます。

ご家族が入院された場合、コロナ禍でご家族様との面会ができない状況ですが、オンライン面会を予約していただくと、個別の時間を楽しむことも出来ますので、ぜひ利用して病棟での様子を見ていただきたいと思います。

西病棟 内田詠子

新型コロナウイルス
ワクチン接種のご案内

浜松北病院では現在、ファイザー製の新型コロナウイルスワクチン接種を実施しています。接種は完全予約制です。また、受付には一部制限があります。

■ 接種を受けられる方（すべて当てはまる方）

1. 接種券をお持ちで
2. 北病院にかかったことがあり
3. 15歳（高校生）以上の方

◆ 予約受付 9:00 ~ 16:00

◆ 予約方法 お電話、または診療時

◆ 現在 9月のご予約まで承っております。
（祝日を除く）

月曜日 6日・13日・27日
木曜日 9日・16日・30日

◆ 接種時間 14:00 ~ 16:00

※ お電話の際は、診察券をご用意ください。



◇遠州鉄道
積志駅下車
徒歩15分

◇遠鉄バス
JR浜松駅
10番バスターミナル
77 労災・東海染工
イオン市野行き
→ 浜松北病院下車

〒431-3113 静岡県浜松市東区大科町1668番地

TEL (053)435-1111(代表)
FAX (053)433-2700(代表)

Webページはこちら >>



翔き

はばた

2021
秋号
No. 63



新型コロナウイルスワクチン接種 実施中

